

「疥癬（かいせん）」について

疥癬は、疥癬虫（ヒゼンダニ）を原因とする感染症で、かゆみを伴う皮疹が出現します。

疥癬虫は、体長約 0.4mm のほぼ球形の小さなダニで、ヒトの皮膚に寄生し、メスは角質層にトンネルを掘って卵を産み続けます。

夜間に増強する激しいかゆみが特徴で、肌と肌の直接接触だけでなくシーツなどの寝具、衣類などを介しても感染することから、集団発生が起こりやすく注意が必要です。

1 感染経路

- (1) 直接接触：患者の皮膚から感染する
- (2) 間接接触：まれにベッド、寝具、衣類、脱衣箱、ソファなどを介して感染する

2 潜伏期間

約 1 ヶ月（角化型疥癬の場合は 4 ～ 7 日）

3 主な症状・特徴

かゆみの強い発しん（丘しん、小水疱、膿疱、結節等）ができます。

手足等には線状の隆起した皮しん（疥癬トンネル）がみられたり、体等には丘しんができます。かゆみは、夜間に強くなります。アトピー性皮膚炎、他の湿疹等との区別が難しいことがあります。

また、ダニの数が数十匹以上で感染力も弱い通常疥癬と、ダニの数が 100 万～200 万となり非常に強い感染力を持つ角化型疥癬（ノルウエイ疥癬）があります。

4 予防・治療方法

強いかゆみのある発しん等上記の様な症状がある場合は、自己判断せず必ず皮膚科を受診しましょう。

疥癬と診断されたら、外用薬・内服薬等の治療を受け、寝具や衣類、タオルの共用を避けましょう。

手洗いの励行などの一般的な予防法を実施することが重要です。また、衣類やリネン類はよく洗濯し、布団なども定期的に日光消毒もしくは乾燥させます。

5 その他

角化型疥癬の場合、患者の家族や同室者などは、感染拡大を防ぐために予防的治療を行うことがあります。また、使用した衣類、シーツ類は 50℃以上の湯に 10 分以上浸した後洗濯するなど、更なる感染拡大を防止することが必要となります。